

機械流通委員会所掌の取扱主任者(更新)筆記試験を実施

中国遊技機商業協同組合機械流通委員会(山本基庚委員長)では、毎年委員会の事業活動計画の大きな柱の1つである遊技機取扱主任者(更新者)を対象とした筆記試験を、今回はコロナ禍でもありコロナウイルス感染拡大防止を図る観点から3密、特にマスクの着用のほかフィジカルディスタンスなどに留意し実施会場も10月9日岡山会場、同16日に広島会場と2会場に分けて実施した。(下部写真参照)

試験方法も1回の受験者数に配慮するとともに、通常実施する実技試験は中止しその代替えとして実技で使用する遊技機の写真による設問に変更、従前の筆記問題と合わせて全て筆記試験とした。

受験対象者は、当組合が昨年11月に実施した試験以降に日遊協が主催する更新試験に合格し、かつ当組合の中古流通事業に登録している遊技機取扱主任者54名が対象で試験前には機械流通委員長から21世紀会決議内容合意事項等を、試験に当たっては担当役員から当組合作製のガイドブックから重要事項等をそれぞれ説明した。

筆記試験は25分、設問は30問で機械流通委員会担当役員、委員長、委員等6名が試験官等としてピンクジャンパー(中国遊商作製)を着用し、各2会場とも受験対応した。

この遊技機取扱主任者の任務は中古機流通事業の生命線を担っている大変重要で、かつ規程に則り行われ重責を伴っており、この試験合格なくして遊技機の適正な取扱いとは勿論、遊技業界全体の健全な発展に寄与することは出来ないことから、受験者、試験官双方とも試験に当たっては真剣そのもので緊張感漂うなかで無事終了した。

今回、受験者全員が合格し安堵に包まれるなか、新たに気持ちを引き締め、今後も任務に取り組んでいくことを確認しました。

